

2024年9月



# 「大杉ミュージカルシアター」30年の歩みと地域づくり

ガート・T・ウエスタハウト

Osugi Musical Theatre: Serving the Community for 30 years by Gart T. Westerhout

## I はじめに

大杉ミュージカルシアター (OMT) は、オリジナルのミュージカルを上演する劇団として1995年に設立された。OMTが目指すのは「調和」である。作品で表現するだけでなく、劇団員全員、地域、さらには世界へと広げることがを願っている。ホームシアターは1961年に建てられた元公民館（大杉中町劇場）の建物を利用している。

## II 活動内容

- 1) 市民ミュージカル: 作品の題材は、日本の民話、歴史、狂言などに関連したもので、毎年、秋に定期公演が行われる。出演キャストは子どもと大人の両方である。スタッフは20名、キャストは5～30名程度でボランティアが主体となっている。
- 2) 教育ミュージカル: 石川県内の各小学校で、地域に伝わる民話や歴史などからアイデアを得てミュージカルを創作し、在校生の児童に演技や歌の指導を行う。1998年から現在までに計20校で実施。
- 3) コンサート: ミュージカルの劇中歌を中心としたコンサートを開催している。

## III 作品の内容

### 1) おとぎ話とファンタジー

#### ① 「うたの郷 大杉王国」 (1995年) 上演回数9回

大杉王国の王様が「歌謡コンテスト」の開催を発表する。ずる賢いマイナは優勝するための作戦を立てる。

#### ② 「ラジオ大杉」 (2000、2014年) 上演回数 20回

舞台は1920年代。「ラジオ大杉」の初放送の日！生コマーシャルあり、音楽あり、特別ゲストのパフォーマンスあり。そしてお楽しみはラジオオペレッタ「メヨと海賊大冒険」。凶暴な？海賊に捕まったメヨに、何が起こるのだろうか？！コドモ島の人々と海賊たちが巻き起こす大冒険

#### ③ 「Lucky!？」 (2002年) 上演回数12回

町に一つだけある孤児院。けちんぼのマディソンに引き渡すか、買収するかを選択を迫られた町の運命は？カギを握るのは2人の男、正直者ラッキーと悪党ザック。ビッグシダータウンを舞台に一体何が起こるのか？！能登半島の昔話を米国の開拓時代風に演出。

④「夢見茶屋」(2008～2009、2019年) 上演回数21回

大杉村の茶屋で働く娘がある日、夢を見た。夢にあった通り、娘は都会を目指して旅を始める。夢を信じる力が娘に与えたものとは。2019年のリバイバル公演では、新キャストが登場し、新たな展開が！

⑤「白雪姫と笠地蔵」(2018～2019年) 上演回数 10回

白雪姫と笠地蔵が会うと何がおこる！？日本の昔話とグリム童話のごちゃ混ぜ！白雪姫に、継母姉妹チーム、お地蔵様、小人、そして大小人も登場！みんな幸せになれるかな、、、

⑥「不思議の国のあり・す」(2023年) (詳細は天狗劇⑤をご覧ください)

## 2) 歴史

①「小松インターネットラブストーリー」(1996年) 上演回数13回

12世紀の仏御前と17世紀の松尾芭蕉が21世紀で出会う。現代のITを使ってラブストーリーを繰り広げる。小松の見所が紹介され、勸進帳のパロディも登場する。

②「Welcome to Komatsu」(2011年) 上演回数10回

インターネットラブストーリーのアレンジ版。小松市の特色を紹介。姉妹都市や宮本三郎など地元の著名人も紹介されている。劇は日末小学校の児童、ブラジルの児童、外国の学生などとのコラボレーションによって制作された。ロンドン、ゲイツヘッド(英国)、オーストリアでも上演(2011年3月)。

③「平和の鳥～広島遺産」(1999～2002、2006年) 上演回数53回

1945年の広島での原爆投下により被爆し、12歳で白血病でなくなった佐々木禎子さんの実話にもとづいた話。病に侵されながらも、千羽鶴を折ると願いがかなうからと鶴を折りつづけた禎子以来、平和の願いを込めて世界中で鶴が折り続けられている。米国スミソニアン博物館(1999年)、広島原爆資料館(2001年)、米国ウィスコンシン州(2006年)で上演。

④「加賀の千代女俳句ミュージカルーこころより」(2010年) 上演回数10回

1703年、加賀国松任町(現・白山市)に生まれた女流俳人の生涯の物語。61歳の千代女は、当時の加賀藩主前田重教から朝鮮使節への贈り物として俳句献上の命を受ける・・・

⑤「開創1300年：那谷寺ものがたり」(2017年) 上演回数7回

養老元年(717年)に泰澄が創建したと伝えられる那谷寺。歴史とファンタジーを織り交ぜ、1300年間を振り返る。森の妖精、花山法皇、前田利常公、松尾芭蕉など歴史上の人物が登場する。

## 3) 天狗

①「よくばり天狗」(1997、2003～2004年) 上演回数31回

大杉にある天狗の像にヒントを得て生まれた作品。キャストには八兵衛と村人たち、歌うにわとり「チキチキン」、たぬき、雪男、かみなりそして天狗。八兵衛は村を干ばつから救うために天狗のいる山へ。そこで出会った不思議な仲間たちと一緒に天狗と戦うことに。

②「よくばり天狗IIーもどったぞー」(2004年) 上演回数15回

前作で八兵衛たちによって石になった天狗がよみがえり、新キャストの鬼、双子の竜、亀とともに展開する物語。。もちろん！人気者のチキチキン、カミナリやたぬき、雪男も登場する。

③「よくばり天狗IIIー天狗惑星の大冒険！」(2007年) 上演回数15回

よくばり天狗が「天狗惑星」という、ピエロのような幸せな天狗が住む星に行ってしまう。そこでも天狗は悪知恵を働かせる。

④ 「よくばり天狗IVゴーストストーリー」 (2012年) 上演回数10回

大晦日の晩、天狗のもとにゴーストが現れ、「今すぐ人生を改めない」と告げる。天狗の運命は・・・！英国の作家チャールズ・ディケンズの生誕200年を記念して、ディケンズの代表作「クリスマスキャロル」を大杉版にアレンジ。

⑤ 「不思議の国のあり・す?! (よくばり天狗5)」 (2024年) 上演回数8回

若い兄弟、ウサギ、魔法の帽子屋、100人1首、ベートーベン、カメ、カタツムリ、そして欲張り天狗に共通するものは一何でしょうか？彼らは皆すべて、私たちが想像する不思議の国のアリスに登場します。少年たちは時空を旅してみんなを救うことができるのでしょうか？

## 4) 狂言

① 「満月のいたずら」 (1998、2006年) 上演回数28回

1998年上演は中世イタリア、2006年上演は現代のNYが舞台。しかし、ストーリーの内容は日本の狂言「附子(ぶす)」と「吹取(ふきとり)」をベースにしたもの。二つのストーリーが舞台上で同時進行する。狂言の謡にメロディがつけられている。

② 「きもだめし」 (2001～2004、2009～2010年) 上演回数38回

弓矢太郎という自慢話の好きな男がいた。ある晩、「天神の森へ行ってこれたら宝物をやろう」という賭け話にのせられ、森へ向かった太郎は、実は大の臆病者。誰もが恐れる天神の森で待ち受けていたのは...。大筋は狂言「弓矢太郎」から引用。オーストリア、島根国際演劇祭で上演(2001年)。

③ 「トリプル狂言ミュージカル：宝！」 (2013～2014年) 上演回数12回 (2024秋予定)

狂言の「宝の笠」「盆山」「仏師」の3曲を組み合わせた作品。子どもから大人までみんなに人気のハイテンポなコメディ。宝比べの会の為、太郎冠者・次郎冠者が都会へ買出しに。だまされないといいけれど・・・

④ 「バイリンガル狂言ミュージカル：MONKEY！」 (2015年) 上演回数11回

狂言の名曲「うつぼざる」と昔話「桃太郎」をベースにした芝居を英語と日本語で演じる。日本の大名と米国の猿引きが会おうとどうなる？劇中劇では桃太郎ならぬバナナガールが。。。楽しい事いっぱい！

⑤ 「狂言ミュージカル牛泥棒のモオオオのがたり」 (2022年) 上演回数7回

むかしむかし大杉村の村長は、天皇陛下の大事な牛の世話を任されていました。ある夜、牛が盗まれました！まあ、大変！狂言の「牛盗人」をベースに小松バージョンにリニューアルされた新作ミュージカル。。

## IV 小学校のミニミュージカル

1996年 「One With the World」 第一小学校有志

1997年 「Moonlight Madness」 (英語劇) 蓮代寺小学校 全学年

1998年 「世界の旅」 第一小学校 4、5、6年生

1999年 「てんぐのうちわ」 松東ふれあいセンター 金野、波佐谷、西尾小 全学年

2000年 「Lion's Picnic」 (英語劇) 滝ヶ原分校 1、2、3年生

2001年 「Meyo and the Pirate Adventure」 (英語劇) 北陸学院小学校 4年生

2002年 「Pickpocket Licenses」 (英語劇) 苗代小学校 5年生

2003年 「Go Bananas」 (英語劇) 波佐谷小学校 3、4年生  
 2004年 「A Day in the Life」 (英語劇) 山代小学校 6年生  
 「かぐや姫」 金明小学校 全学年  
 2005年 「ぐず焼きレジェンド」 動橋小学校 全学年  
 2006年 「三又大杉の伝説」 菅谷小学校 全学年  
 2007年 「かしま！」 緑丘小学校 全学年  
 2008年 「みのむしいっき〜りよもんとキツネの太行進」 分校小学校 全学年  
 「よくばり天狗」 波佐谷小学校 1、2年生  
 2009年 「さえぐさTHEミュージカル」 勅使小学校 全学年  
 「びっくり！」 波佐谷小学校 1、2年生  
 2010年 「てんぐとうなぎ」 宮竹小学校 4年生  
 「三本杉」 作見小学校 5年生  
 「Caps for Sale」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 「Welcome to Komatsu」 日末小学校 4年生  
 2011年 「よーいドン！大杉小学校ものがたり」 波佐谷小学校 1、2年生  
 2012年 「Hasadani Cooking Show」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2013年 「Let's Go To The Zoo」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2014年 「Crab Pond」 (英語劇) 和気小学校 3年生  
 「Three Little Animals」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2015年 「Caps for Sale」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 「The Starkeeper」 (英語劇) 栗生小学校 4年生  
 「Shoto 50!」 松東中学校 全学年  
 2016年 「The Big Turnip」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2017年 「Hasadani Cooking Show」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2018年 「The Very Hungry Hasadani Caterpillar」 (英語劇) 波佐谷小学校 1、2年生  
 2019年 「Caps for Sale」 (英語劇) 栗津小学校 3年生

## V 地域づくり

### 1) 天狗アートプロジェクト (作/ガート・T・ウエスタハウト、イラスト/アライヒロシ)

#### ①紙芝居&うたものがたり

- ・「よくばり天狗」ミニ紙芝居(5枚) 現在までに20ヶ国語に翻訳。畳サイズの紙芝居も作成し、畳の裏を使い発表。
- ・「よくばり天狗II—もどったぞ！」うたものがたり お話、絵、楽譜など10ページ
- ・「よくばり天狗III—天狗惑星の大冒険」うたものがたり お話、絵、楽譜など11ページ
- ・「よくばり天狗IV—ゴーストストーリー」紙芝居(16枚)

#### ②大杉ミュージカルシアター 天狗アートプロジェクト

スペース天狗コスチュームデザインコンテスト(2007年)。650作品の応募があり、上位3位までを表彰。そのうち125作品を応募者自身で15センチの天狗にデコレーションして125ヶ所で展示。

### 2) 松尾芭蕉の俳句「ふるいけやかわずとびこむみずのおと」を15ヶ国語に翻訳(2010年)

### 3) 加賀の千代女ミュージカル紙芝居、イラストKAZU (2012年)

#### 4) OMTミュージカル市民参加

- ① 「よくばり天狗」 お客様に1,000個のカズー（笛）をプレゼントして、芝居中に一緒に演奏（1997年）、ゲイツヘッド大学の学生と合同公演（1997年）
- ② 「ラジオ大杉」 全8回の公演内で毎回違う特別ゲストがバンドの演奏に参加（2000年）
- ③ 「きもだめし」 1,000人の子供が鬼の顔を10センチ角の紙に書いて公演中に大杉中町劇場ロビーに展示（2001年）
- ④ 「平和の鳥」 折鶴を1999年に5万羽、2006年に2万羽、米国に持参して配布
- ⑤ 「10周年記念公演」 市民コーラス30人が参加（2004年）
- ⑥ 「満月のいたずら」 松任公演：松陽小学校5年生の児童60人と金城短大の学生20人がコーラスに参加（2005年）
- ⑦ 「15周年記念公演」 白楊幼稚園年長児50人、清水舞踊スタジオ参加（2009年）
- ⑧ 「加賀の千代女」 白山市公演：小学校5年生の児童70人、西南幼稚園の園児20人、金城短大幼児教育学科の学生約100人がコーラスに参加、サスケ太鼓30人がゲスト出演（2010年）、白山市、小松市の小学生の代表者が千代女の俳句の書21句に協力
- ⑨ 「Welcome to Komatsu」 3月小松ドーム公演、日末小学校4年生児童28人がコーラスに参加。（2011年）
- ⑩ 「Welcome to Komatsu」 英国公演、ゲイツヘッド大学ロードローソン校80人がコーラスとダンスに参加（2011年）
- ⑪ 「Welcome to Komatsu」 大杉中町公演,10人のブラジルの子供たちがダンスに参加（2011年）
- ⑫ 「Welcome to Komatsu」 波佐谷コーラス、全学年の児童75人がコーラス参加（2011年）
- ⑬ 「トリプル狂言ミュージカル：宝！」 波佐谷コーラス、全学年の児童76人がコーラス参加（2013年）
- ⑭ 「ラジオ大杉」 旗デザインコンテスト（2014年）
- ⑮ 「那谷寺ものがたり」 那谷小学校全学年の児童がコーラスに参加

#### 5) 受賞/出演

1997年 TOYP 大賞 (ディレクター、ガート・ウエスタハウト)

2001年 小松ライオンズクラブ「文化環境賞」

2001年 八雲国際演劇祭「主演男優賞」山戸駿

2003年 「石川地域づくり大賞」受賞

2004年 「地域づくり総務大臣表彰」－地域復興部門－受賞

#### 6) OMT主催イベント (一部)

- ・ほうき星 人形劇
- ・山本民謡会
- ・Etsuko & The Whole Tones Jazz
- ・タウンセンド
- ・ダディズガール. 佐々木町倉庫で5回のコンサートを開催します。収益はすべて能登復興に寄付されます。
- ・ヒルトゥレイロア パーカッション

- ・クラシックコンサート
- ・ビートバンボーイズ ロックンロール
- ・中川ひろたかコンサート
- ・岩山則夫 パペットリーメッセンジャーズ
- ・演歌&太鼓・寒雲
- ・フェスタ大杉・Pちゃんクラブ・らくてんZ
- ・ワークショップ
- ・栗城宏 (わらび座・愛知県)
- ・ランチコンサート (大杉中町劇場バースデーパーティ) (2011年)
- ・ブレックファーストショー、ランチコンサート、ディナーシアター(大杉中町劇場 2013年)
- ・RABISARI 5回のコンサート (アラビアと日本のフュージョン). 東京出身のプロバンド。
- ・MIWA TOSHI TESSIN 2回のコンサート (ケルト音楽) 大阪出身のプロバンド。
- ・2024 First Friday Concerts in Sasaki !  
佐々木町蔵で5回のコンサートを開催します。収益はすべて能登復興に寄付されました。

## 7) 国際交流

### ①海外公演

OMTは6回の旅公演を実施。劇は主に日本語で、所々英語の字幕やナレーションがつけられた。歌はバイリンガル。毎回、地域の住民宅でホームステイをさせて頂き、短期間でも深い交流が行われた。

1997年9月 ゲイツヘッド (英国) : 「よくばり天狗」 小松市の姉妹都市にあるゲイツヘッド大学の演劇コーラスの学生と合同公演。11人参加。

1999年 ワシントンDC (米国) スミソニアン博物館 : 「平和の鳥〜広島遺産」 6回公演。コンサート1回 (アルバン スクール) 24人参加。

2001年 シュワーツ (オーストリア) : 「狂言ミュージカルきもだめし」 5回公演。9人参加。

2006年 ウィスコンシン州ラクロス (米国) : 「平和の鳥〜広島遺産」 ラクロス市民コーラスと合同公演6回。16人参加。

2011年 英国、オーストリア : 「Welcome to Komatsu」 お茶の間劇場 (ロンドン) 1回公演。ゲイツヘッド大学の学生と合同公演1回。ロードローソンスクールのセットと合同公演1回。シュワーツ高校 (オーストリア) 1回公演。

2015年 カリフォルニア州 (米国) 「MONKEY!」。ブルーレイク 公演2回。サンフランシスコ公演1回。8人参加。

### ②海外ゲスト

1998年10月、2013年10月 ダーン・ケニー氏 (米国/東京) 一人狂言

2007年4月 ローズ・ファーロンガー氏 (英国ゲイツヘッド大学)

波佐谷小学校のマスクパフォーマンスプロジェクト 3年生

OMT マスクワークショップ

2007年7月 モーリー・エンダース氏 (米国リンカーンコミュニティープレーハウス) よくばり天狗 IIIゲストディレクター

2013年10月 デボラ・ハート氏 (米国インディアナ州) 1000 Red Noses Project

### ③ワールド・天狗・プロジェクト (WORLD TENGU PROJECT)

世界天狗 2004年から - OMTから天狗の人形を世界の各大陸、60カ国に贈りそれぞれの国で暮らす。

### ④世界旅天狗ツアー (2007-2008年)

天狗の人形が11カ国、13都市の世界一周のツアーをし、ホームステイ、学校訪問などの体験を日記に書いてお土産として持参。ツアーの様子をトランク内に飾り、小松市の小学校10校に展示。

### ⑤その他

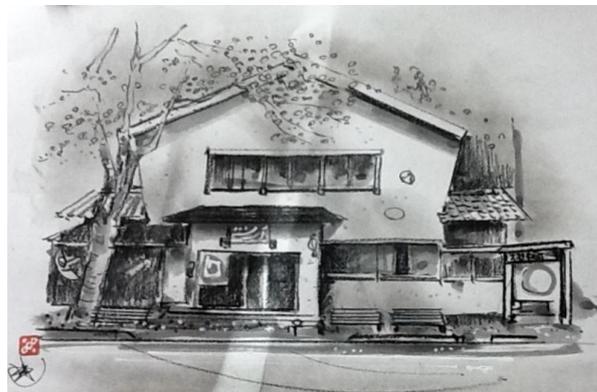
ジャパンテントでのコンサートや交流。

2012年 米国ワシントン州タコマで開催された「マジックランタン協会」で、OMTの「よくばり天狗IVーゴーストストーリー」をスライドショーとして発表。

2007年 アジアンシアタージャーナルの狂言特集にOMTの狂言ミュージカルの論文を掲載。

## VI まとめ

今年、大杉ミュージカルシアター (OMT) は30周年を迎えた。1995年に設立され、第1回目の定期公演として「うたの郷 大杉王国」を上演したのが昨日のように思い出される。キャスト・スタッフの熱心な努力、大杉町、小松市、そして大杉中町劇場へ訪れてくださった多くのお客様に支えられ、これまでに450回以上もの公演ができたことに深く感謝している。緑溢れるアットホームな大杉中町劇場での上演を通して、劇団員とお客様との間に温かい絆を築くことができると信じ、また大杉の大自然を皆様に満喫していただけることを喜びとし、長年にわたり天狗・狂言・歴史・民話の四つの分野を土台に劇を作ってきた。創作にあたり、日本の文化について学び表現していくことの喜びを心から感じ、自分自身も成長させていただいている。いつまでもこの素晴らしい環境の中で、お客様とOMTメンバーが、共に歌い共に笑い合える温かい時間を作り続けていきたいと願っている。皆さまのご厚意に心より感謝申し上げます。



TEL 090-1637-4560

小松市大杉中町モ78  
大杉 ミュージカルシアター  
osugimusicalthatre.com  
omt@QTH.com